

## 輸送動向について（2月分）

平成24年3月

## 1. 輸送概況

今月は、北海道から北陸にかけての広い範囲で、強い寒気による大雪が1月末から断続的に続いたことから、各地で輸送障害が多発した。また、中旬には石勝線において貨物列車の脱線事故による輸送障害が発生し、月全体では高速貨433本が運休した。

荷動きについては、東日本大震災に伴う生産減に加え、欧州景気の低迷や中国向け輸出の減少等の影響を受けたことに加え、記録的な大雪による輸送障害のため一部で鉄道利用控えが生じたことから、閏年により営業日が多かったものの、月全体では前年を下回った。

コンテナ貨物は、自動車部品、農産品・青果物等が前年を上回ったものの、一部工場で震災の影響が残る紙・パルプを始め、積合せ貨物、食料工業品等が前年を下回り、全体では前年比96.9%となった。自動車部品は震災以降のメーカーの増産体制に伴い増送となった。一方、積合せ貨物、食料工業品等は度重なる輸送障害の影響を受け減送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を下回ったものの、石油等が前年を大きく上回り、全体では前年比109.1%となった。石油は気温が低めに推移したことから、灯油や軽油などの需要が旺盛となり大幅に増送となった。

## 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,594	1,646	96.9%	17,689	19,089	92.7%
車 扱	1,128	1,034	109.1%	9,215	9,605	95.9%

## 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	156	154	2	101.3%
	化学工業品	154	159	-5	96.9%
	化学薬品	123	129	-6	95.3%
	食料工業品	221	230	-9	96.1%
	紙・パルプ	230	254	-24	90.6%
	他工業品	141	135	6	104.4%
	積合せ貨物	152	163	-11	93.3%
	自動車部品	88	76	12	115.8%
	家電・情報機器	34	38	-4	89.5%
	エコ関連物資	29	29	0	100.0%
	その他	266	279	-13	95.3%
コンテナ計	1,594	1,646	-52	96.9%	
車 扱	石油	816	728	88	112.1%
	セメント・石灰石	123	126	-3	97.4%
	車 両	99	98	1	100.9%
	その他	90	82	8	110.3%
	車 扱 計	1,128	1,034	94	109.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)